

東海地区

学校事務会報

第139号

令和6年3月15日

発行：東海地区公立小中学校事務研究会

<http://toukaijimuken.sakura.ne.jp/>

今年度の各県の研究活動について報告します。

静岡県公立小中学校事務職員会 研究報告



「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」を目指して

静岡県公立小中学校事務職員会のテーマ「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」を具現化するため、専門委員会・特別委員会を設置して、活動を推進しました。それぞれの活動内容は次のとおりです。

【専門委員会の活動】

I 研究推進委員会

- ・研究推進委員会の開催（6/15、9/22、1/12）
- ・県大会の推進（2/9オンライン開催 兼東海地区研究大会）
大会テーマ 「学校・家庭・地域、次代へつなぐ学校事務の創生」

II 広報委員会

- ・研究冊子「ときめき かかわり 未来へつなぐ」への原稿提供
- ・広報誌「はばたき」WEB版の編集・発行
- ・「学校事務研究集録70号」の編集・発行
- ・ホームページの運営の維持・管理

III 学校事務改善委員会（活動休止）

IV リーダー育成委員会（活動休止）

【特別委員会の活動】

I 事務提要編集委員会

- ・事務提要編集委員会の開催（随時）

II グランドデザイン策定委員会

- ・グランドデザイン発刊に向けて、グランドデザイン策定委員会、導入研修会の開催、アンケートの実施

～他県から静岡大会に参加して～

今回、初めてのライブ配信ということで今後の大会運営の可能性を考える機会となりました。そして研究部発表からはキーワードでもある「つながり」の大切さや東海事務研の存在意義を学び、また、その後の座談会では各支部の様子がわかると同時に、各支部長さんの事務研愛を感じるひと時となりました。

岐阜県小中学校教育研究会事務職員部会 研究報告



子どもたちの豊かな育ちを実現する学校事務
— 校務運営への参画を支援する共同実施の推進 —

【研究の重点】

1. 子どもたちが安全で安心して学び生活できる環境を整えるとともに、信頼される学校づくりに努める。
2. つかさどる職として、積極的な職務の遂行と研究活動を通して、会員の資質・能力の向上に努める。
3. 学校事務体制と事務機能を整備し、組織的な学校事務に努める。

【活動内容】

1. 代議員会(リモート開催)
2. 県校長会、県教育委員会との懇談
3. 各地区・郡市の研究交流
4. 研究大会
(1)開催時期 令和5年10月26日(木)不二羽島文化センター
(2)内容

・講演 「共同学校事務室による学校事務改善」

国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長 藤原文雄 氏

・分科会 第1分科会:事務の日セミナー

「小中学校事務職員のキャリアステージにおける実践紹介(主事主任向け)

～これまでの自身の振り返りを通じて～

岐阜県教育委員会 義務教育課小中学校人事係 今井鉄也氏

第2分科会:共同実施室長等リーダー研修会

「令和4年度中央研修伝達講習」

・本部・専門部報告

5. スキルアップ研修

テーマ:「事務職員の標準的職務内容におけるキャリアステージ(補職)ごとのめざす姿(例示)

～校務運営への主体的・積極的な参画をめざして～」について

基礎講座 令和5年7月26日 総合講座 令和5年8月25日

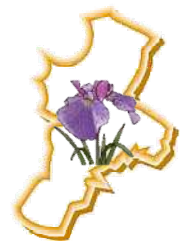
6. 専門部活動 総務部・研修部・研究部・特別部

～他県から岐阜大会に参加して～

午前の講演会では、現場で常にアンテナを高くし実践の中で成長していく、経験学習の重要性を教えてくださいました。そして、他校の取組や実践を共有して、お互いに高め合える場がさらなる成長につながるという話があり、研究会の意義を感じました。また、午後の分科会は、経験年数別で紹介してあり、選択しやすい設定になっていました。

三重県公立小中学校学校事務研究会 研究報告

子どもの豊かな育ちを実現する学校事務
－ (年次テーマ) 協働体制の構築－



三重県公立小中学校学校事務研究会では、「子どもの豊かな育ちを実現する学校事務」を研修主題とし活動しています。今年度からスタートした「第9期中期研修計画」の年次テーマは、「協働体制の構築」としています。コロナ禍で学んだ新しい形での研修方法を取り入れながら、ビデオ配信によるWEB講座や、参集形式での研修講座、研究大会を以下のようにおこないました。4年ぶりに参集での開催ができた研究大会では、事務研活動の意義、大切さをあらためて確認することができました。

来年度以降も会員の意見を取り入れながら、会員相互の活発な交流と実践につながる研修となるようすすめていきます。

第1回研修講座(6月) ビデオ配信によるWEB講座

- ・講演 鳥羽小学校コミュニティスクールディレクター 濱田 浩さん
「地域とのつながりをどう作っていくか」

第2回研修講座(7月) 参集形式

- ・講演 横浜市立日枝小学校 事務職員 上部 充敬 さん
「みんなが元気になる働く場づくり～空間と協働をリノベート～」
- ・講演 津市立敬和小学校 指導教諭 駒田 健志 さん
「ICT利活用による校務改善～Googleのコアアプリを中心とした働き方改革～」

第3回研修講座(10月) 参集形式

- ・講演 津市立誠之小学校 事務職員 浅野 雅博 さん
四日市市立笹川小学校 事務職員 川北 剛 さん
「中央研修還流報告」

第59回三重県公立小中学校事務研究大会(10月) 参集形式

- ・講演 大分大学教育学部門 准教授 熊丸 真太郎 さん
「つながり」ながら「つかさどる」学校事務職員
- ・7支部による実践レポート発表
テーマ 「協働体制の構築」



～他県から三重大会に参加して～

午前の講演では、「つかさどる」学校事務職員であるために、必要なこと、身に付けておくべきスキル等、改めて自分はどうか?と振り返る機会になりました。午後の実践報告とグループ討議では、課題に対する視点や取り組み方等、意見交換を行い、他県の生の意見に触れることができ、大変刺激を受けた1日でした。



「協働・創造・発信！チームでつなぐ子どもたちの笑顔」

～教職員や地域の人々とともに子どもたちの笑顔あふれる学校づくりの推進～

愛知県公立小中学校事務職員研究会は、「協働・創造・発信！ チームでつなぐ子どもたちの笑顔」をテーマに、愛知における学校事務のグランドデザインである「あい・学校スマイルプラン」のミッションである「教職員や地域の人々とともに子どもたちの笑顔あふれる学校づくりを進める」の実現を目指し、「チームとしての学校づくり」、「地域とともにある学校づくり」、「学校づくりを推進する共同実施組織」の三つの重点目標を掲げ、研究活動を進めています。

今年度は、ポストコロナ時代の新しい研究会活動を模索し、各事業の見直しを行いました。県事研活動に対するアンケートを行い、会員から直接、評価を受ける機会を設け、その結果を基に、研究大会をはじめとする各事業について、役員会・理事会でさまざまな視点から意見を出し合い、持続可能な研究会活動の在り方を検討しました。

【活動内容】

1 県大会の開催

令和5年10月25日（水）に名古屋市公会堂において、研究大会を開催しました。

（講演）

「人は話し方が9割」 株式会社人財育成 JAPAN代表取締役 永松茂久 氏

（支部発表）

海部支部：「新たな学校運営参画へのカタチ ― 学校防災と事務職員～初期の避難所開設・受入訓練について～ ― 」

東三河支部：「高める！深める！私たちの共同学校事務室 ― 東三河4市における共同学校事務室の実践共有を通して ― 」

2 学校事務情報交換会の開催

テーマ：「コミュニティ・スクールの導入と学校事務職員の校務運営参画を考える」

講師：愛知教育大学 教育ガバナンスコース 教授 風岡治 氏

報告者：情報戦略部長 松井 政徳

参加者によるコミュニティ・スクールに関するグループワーク実施

3 共同学校事務室の在り方に関する研究

Web会議システムを活用した共同学校事務室のモデルプランの実践について支部、市町村へ協力を依頼し、実際に試行協力を得るための企画の検討と募集を行いました。

4 市町村立学校事務職員研修検討会への参加

県教委が主催する研修検討会へ参加し、県教委の研修担当者とともに、学校事務職員のキャリア形成を意識した研修の体系化に向けた協議を行いました。

5 地域連携の取り組みに対する情報提供

「コミュニティ・スクール等状況調査」を実施し、県内の各市町村における地域連携の取り組み状況の実態把握を行い、ホームページ「ナレッジサイト」への掲載等を通じて会員へ情報提供を行いました。

～他県から愛知大会に参加して～

研究テーマ「協働・創造・発信！チームでつなぐ子どもたちの笑顔」のもと、学校防災と事務職員の関わりと共同学校事務室の実践発表がありました。いずれの発表も子どもたちの幸せを中心に据えた取組で、地域や学校内での協働、組織開発において具体的な事例や課題解決方法が発信され、とても参考になりました。

第55回 東海地区公立小中学校事務研究大会静岡大会



大会テーマ 「学校・家庭・地域、次代へつなぐ学校事務の創生」

期 日 令和6年2月9日(金)

会 場 三島市立北小学校(配信会場)

参加者 約600名(視聴者)

公立小・中・義務教育・特別支援学校事務職員 その他学校事務担当職員
教育委員会事務局職員及び教育関係者 外

内 容

開会式 東海地区公立小中学校事務研究会 会長挨拶
豊岡 武士 三島市長挨拶

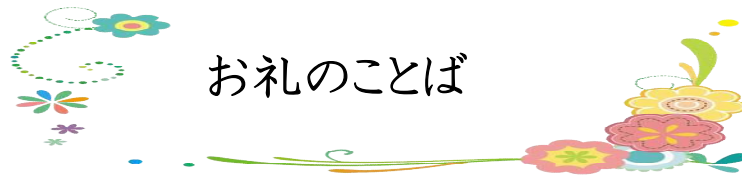
項 目	発表者	概 要
東海事務研 新大会テーマ発表	東海事務研 研究部	令和6年度からの東海事務研 新大会テーマの発表
東海事務研 研究プロジェクト発表	東海事務研 研究プロジェクトチーム	研究テーマ 成長する事務職員組織を目指して～心理的安全性と経験学習から考える組織開発の在り方～ 組織開発の健全性と効果性の視点から事務職員組織が活性化するための在り方について提案する。
東海事務研 支部長座談会	パネリスト 東海4県各支部長 静岡県 高橋 豊 三重県 加藤 千種 岐阜県 小川 茂樹 愛知県 山敷 伸明 コーディネーター 東海事務研研究部 静岡県 山本 幸治	座談会テーマ ～研究会組織のこれからについて～ 現在の研究会組織の課題や新大会テーマを踏まえ、次代へつなぐために研究会組織が果たす役割について考える。
事業紹介	公立学校共済組合本部	公立学校共済組合の目的・事業内容等

<p>パネルディスカッション 「学校事務・事務職員の未来を 考える」</p>	<p>常葉大学教育学部 堀井 啓幸 特任教授 富士市教育委員会 深澤 準治 参事補兼教職員担当主幹 静岡県公立小中学校学校事務職員 会 グランドデザイン策定委員長 長倉 久登 事務主任 (沼津市立今沢中学校)</p>	<p>学校事務及び事務職員の未 来を教育改革や令和の教育 を反映した新たな学校事務 のグランドデザインである 「ふじの国はばたきプラン」 0次版をもとに、学識経験者 ・行政経験者そして事務職員 で考える。</p>
--	--	--

閉会式 大会実行委員長挨拶
令和7年度大垣大会PR動画

《次大会予告》

第56回 東海地区公立小中学校学校事務研究大会 大垣大会
令和7年11月14日(金)
会場：大垣市サイトピアセンター



お礼のことは

第55回東海地区公立小中学校事務研究静岡大会

実行委員長 土屋 健

第55回東海大会静岡大会は、令和6年2月9日に滞りなく開催することができました。本大会開催にあたりまして、文部科学省をはじめ、東海地区4県教育委員会、関係市町教育委員会など各機関の皆様のご多大なご支援を賜りましたこと、深く感謝いたします。

昨年度に引き続き、本大会でもいくつかの新しい試みを実施しました。

一つ目は、動画共有サービス「YouTube」を利用したリアルタイム配信で実施した事です。配信会場として、三島市立北小学校をお借りし、会場準備に要する時間や会場使用料の負担がなかったことは、大会運営にかなりの軽減がはかられました。

二つ目は、費用軽減による、参加費の徴収が不要となったことです。

三つ目は、会の進行をAIによる自動音声に任せて、運営側の負担の軽減をはかりました。チャレンジングな取組でしたがいかがだったでしょうか。

午前の新大会テーマ等の発表や支部長座談会は、事前に動画を撮影し、視聴者に伝わりやすいようテロップを入れ、午後のパネルディスカッションでは視聴者参加型となるよう配信中にアンケート調査をして、長時間の聴講が苦にならないよう工夫しました。

オンラインでの開催や参加費を徴収しない大会となったことは、今後の大会の在り方の一つとして、参考になることを願っています。

最後に、本大会開催までに多くの皆さまのご尽力をいただきましたことに静岡大会実行委員会一同より感謝申し上げます。

